



第1回情報発信部会（令和2年7月30日開催）

資料1

委員からのご意見・質問と区の考え方

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
1	上村委員	<p>【自転車等安全利用啓発事業・区民アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（令和元年度運営方針で）目標が70%に対し、結果が62.6%で未達成となっている。この62.6%は区民モニターアンケートと区民まつりでのアンケートを足して2で割った数字なのか。 ・区民モニターアンケートの回答者の構成を見ると、30代が少なく、高齢の方が多い。だから必ずしも区民全体の意見になってるのかなというのが1つある。特に子どもの関係で、いい数字になっていても、それが高齢の方が結構いい回答をされていて、30代の方が少し厳しいような意見があったりする。今後何か工夫してもいいのかなと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民モニターアンケートとできるだけ多くの方々からの意見等を収集するために区民まつりだけでなく、イベントでのアンケートを収集し平均をだしている。 ・元年度の区民モニターアンケートでは、60歳以上の方が回答者の約6割を占めており、幅広い世代に意見を聞くためにイベント等でもアンケートを収集している。今後、さらに幅広く区民から意見を収集できるようアンケート方法を検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 2年度に対応 <input type="checkbox"/> 3年度に対応（予定） <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
2	橋本委員	<p>【自転車等安全利用啓発事業】</p> <p>車椅子で日常生活していると、商店街の交差点とかで自転車がノーブレーキで出てくることがよくある。鶴見橋商店街を、車椅子で端から端まで行くと、自転車と10～20台すれ違う。</p> <p>自転車に乗ってる人は止まれても、こっちは止まれない場合もあるし、こっちが止まっても相手が突っ込んでくる場合もある。私は車椅子に乗って8年で、幸いまだ接触の事故はないが、危ない目には何回か遭っている。</p> <p>特にスーパーの前は人が多いが、自転車は狭い間を抜けて通ろうとする。足をついて止まることもなく、その狭いところを抜けて通ろうという人がほとんど。</p> <p>商店街なんかでは、そういう通行規制があってもいいと思う。そういったところを、もう少しアピールできるようになれば、車椅子も安心して通れると思う。</p>	<p>自転車等の安全利用啓発については、迷惑駐輪や放置自転車など自転車の安全利用に関して継続した啓発を行っていく必要があると考えている。警察や地域などの各種団体と連携して「誰もが住みやすく、安心して安全なまち」の実現に向け、広報紙を活用した啓発や啓発物品の配布など様々な取組を進めていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 2年度に対応 <input type="checkbox"/> 3年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
3	村井議長	(上記橋本委員の意見に対し) 区商連の会長としては、真摯に対応させていただきたいと思う。例えば他の地域では、商店街の中は自転車通行を禁止と明確に決めているところもある。ただ、西成区内の場合は、まだそういう状況には至っていない。でも、禁止にしてないところでも、放送で「自転車を降りて押して御通行ください」という放送をかけているところもあるので、そのような方法も1つとして、区商連の会合等で検討していきたいと思う。	—	—
4	古林委員	【空家等対策推進事業】 ・空家家の全体の件数は、大体どれぐらいと認識しているのか。 ・空家でも所有者が分からないとか、所有者が分かっている、その所在が分からないとか、権利関係が複雑になっていて対策が取れないとか、そういうケースもあると思うが、現在残っている件数の中で、そういう例はあるのか。	・管理されてる空き家等も含めるとかなりの数があるが、危険な家屋で第三者等に危害を及ぼす可能性がある空き家は、3月末時点で91件、それから5件ほど減って現時点で86件となっている。 ・空き家になって残っているということは、何か対応ができない理由があるため残されている。所有者が分からないもの、権利が分からないもの、土地と建物と所有者が違うもの、難しい物件が多数ある。その中で話し合いをしながら何とか糸口をつかんで取組を進めている。弁護士に相談したり、裁判所に相談したりというような新しい取組もしており、今後も大阪市全体で相談しながら対応していきたい。	<input checked="" type="checkbox"/> 2年度に対応 <input type="checkbox"/> 3年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
5	村井議長	【災害時の備え】 先日、知り合いが防災の話を聞きに行ったときに、災害に備えて、数日間程度自分の命を維持するために、例えば3日分の水と食料を御準備ください。ということを言われた。その方はそれを災害が起こったときに、持って出ないといけないと理解をした。持って出るのも1つの方法だと思うが、3日分の水と食料を持って出るというのはちょっと難しい。そうやって、少し曲解される方もいるので、もう少し具体的な説明というのをさせていただければありがたいと感じた。	災害時の備えについては、大阪市地域防災計画に基づき、災害時にいつでも持ち出せる「非常持ち出し品」と、1週間程度の生活可能な「非常備蓄品」を備えていただくよう周知している。地域訓練や出前講座などの際には実際の「非常持ち出し品」などを用意し啓発を行っている。 頂いたご意見をもとに、出前講座などの際にはご自身の非常持ち出し品を持参いただき一緒に点検するなど、よりよい備えとなるよう引き続き取組を行っていく。	<input checked="" type="checkbox"/> 2年度に対応 <input type="checkbox"/> 3年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
6	橋本委員	<p>【災害時のネットワーク】</p> <p>私自身が要援護者の登録をしてもう4・5年になると思うが、登録して以来、雨の災害とか地震とかの際に、近所からも役所からも連絡がきたことがない。自分で3日分の食料や飲物というのは確保していても、3日たったなら、せめて誰かが声をかけてくれると思っているが、具体的な呼びかけも何もない。実際、地震のときにガスのメーターが遮断したことがあった。ガスメーターは上の方であって車椅子では解除ができない。たまたま近所の親しい者にかけてはもらえたが、一人世帯の高齢者などが、そういうときに誰かに助けてもらえるルールづくりや、困ったときの連絡のネットワークなど、指針があれば安心できると思う。</p>	<p>要援護者登録名簿は、災害時の支援や孤立死など社会的孤立が進むなか、誰もが安心して暮らし続けるために、見守り活動に活用できるよう、見守り相談室でとりまとめて地域に提供している。</p> <p>災害時には、「自助・共助・公助」による災害対応が必要で、被災直後の支援が必要な方の安否確認や避難には、地域ネットワークによる「共助」が非常に大切となる。各地域では、見守り相談室の名簿を活用し、平時からの見守り活動を通して、地域内で顔の見える関係を作っていたら、災害時にも支援が行えるようにしておくことが必要と考えている。しかし、その活用状況は、全ての登録者に対し見守り活動が行われているとは必ずしも言えず、区としても課題であると認識している。今後も見守り活動の大切さを広く周知するとともに、引き続き地域・見守り相談室・区役所等が連携し取り組みを進める。</p>	<input type="checkbox"/> 2年度に対応 <input type="checkbox"/> 3年度に対応（予定） <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
7	上村委員	<p>【観光資源】</p> <p>ある方が参加した、大正区と西成区を回るツアーで、大正区から渡し船に乗って西成区に入ったときの、渡し船から見た西成区の工場の景観というのが大変よかったという話があって、これも観光資源になるのかなと感じた。</p> <p>あと、よろしい草工房に見学に行かれて、こども感心されていた。町の中でこういうのができるのかというような。</p> <p>よく神社仏閣的なのが観光資源というように思うが、そういった西成区の魅力を情報発信ができるのかなと感じた。</p>	<p>西成区にはまだまだ知られていない本当のいいところがあるので、そのようなところを効果的に情報発信できるように努めてまいりたい。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 2年度に対応 <input type="checkbox"/> 3年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
8	古林委員	<p>【西成区の情報発信】</p> <p>・SNSの閲覧数が、非常に伸びたところで、伸びた原因や変更点などあれば教えていただきたい。</p> <p>・一方で、区民アンケートの結果ではSNSからの情報入手が一番低い。アンケート回答者の年齢層というのもあると思うが、何かもう少しその辺が反映できるようにSNSでもアンケート取るとか、何かそういう手段を考えられないか。</p>	<p>・フェイスブック、ツイッターでは、できる限り行事などの情報を掲載するようにして投稿回数を増やした。特に子育て世帯とか、若い方に向けた情報は、SNSを極力利用して発信をしていくことを心がけている。</p> <p>・区民アンケートについては、結果的に高齢の方の回答が多いという状況は、無作為抽出で任意回答のアンケートでは対策が難しいところなので、SNSでのアンケートなど、新たな方法で若年層の意見も取り入れるように検討していきたい。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 2年度に対応 <input type="checkbox"/> 3年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
9	橋本委員	【広報について】 大阪市の講習会に行くと、冊子をいただいて、最後に「詳しくはホームページを見てください」と言われる。だけど、委員として来られている方のほとんどが60歳以上という状況で、どれだけの方がホームページを見る手段を持っているか。スマホも持っておらず、ホームページを見られない人は、肩身が狭いと言っている。見られる人はいいが、ホームページだけではなく、もう少し工夫した案内の仕方があるのではないかと思う。	区民アンケートの結果を見ても、紙媒体のものが上位を占めている。 区としても、この結果も真摯に受け止めながら、紙媒体とホームページやSNS、これを両方をうまく活用していきながら区民の皆様へ、より正確な情報をお伝えできるように努めていきたい。	<input checked="" type="checkbox"/> 2年度に対応 <input type="checkbox"/> 3年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
10	村井議長	【広報について】 最近では文字が小さくて見えないことがあり、文字が見えない時点で読むのが嫌になる。高齢化の中で、これが一番の壁になるので、少し文字を大きくするなど、読もうかなという意識を高めていただければありがたいと思う。	広報紙では、今年度5月号から字体や色合いやレイアウトなどを変更した。最終面にはイベントカレンダーを入れて、これを見れば、いつこんなものがあるというのが分かるような形にした。分かりやすくというところに重点を置いて、いろいろ工夫をさせていただいた。	<input checked="" type="checkbox"/> 2年度に対応 <input type="checkbox"/> 3年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
11	上村委員 (意見票)	【高潮マップ】 大阪府では室戸級台風が直撃したときを想定し高潮マップを更新されたと新聞に出ていたが、西成区はどのような状況なのか。また、その時の対策について決まっていることがあればご教示いただきたい。	本市では、令和2年9月1日より、高潮に関する避難情報を発令する対象区域を新たに設定し、想定し得る最大級の巨大台風（中心気圧910hPa、室戸台風経路）が大阪府域に接近した際には、西成区も全域が浸水想定区域に入るため、避難情報等が発令される見込み。その際には、防災スピーカー、SNS等を通じて区民のみなさまへ周知する。	<input checked="" type="checkbox"/> 2年度に対応 <input type="checkbox"/> 3年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他